



表紙イラスト 田口 暁子

## なぜ、そんなにNPO法人にしたいのですか？

NPO関係者らしからぬタイトルである。最近、「NPOにしたいのですが・・・」という相談が増えている。全国で約6,800法人、県内でも120法人が誕生し、時を追う毎に新聞などでNPOの扱いが増え、善し悪しはあるがNGOも一般語となってきた。認知の高まりは、好ましいことだ。団体の活動が充実し、法人化の機運である。好ましいことだ。行革により行政が事務局の市民団体(?)が自主独立を促されている。好ましいことだ。さまざまな要因でNPO法人化の検討がなされているようだが、好ましくしでは、関係者らしからぬタイトルにつながらない。

「子育てママの気晴らしマップ」で有名な育児サポートの老舗・AMC (Active Mothers Corporation) が4月に有限会社化した。活動実績からNPO法人化が当然との見方もあり、なぜ営利会社かというと意見もある。しかし、私は、AMCの有限会社化には大賛成である。NPO法人は資本金を集める必要がなく、法手続きも簡単である。ここだけを見て「法人化したい」となるのだと思う。だが法律では、NPO法人に対して、透明性を担保した活動を求めており、入会に不当な条件を付けない会員制度を採用することになっている。会員制度を維持し、賛同者をつなぎ止めるためには、会報の発行や活動報告などを行うが、そのために、集めた会費の大半が費やされる。しかも、会員は活動への「口出しの権限」を持つ。また、認証機関への活動報告(収支の全て、活動の詳細)、税務署への納税申告(収支の結果と納税額)、情報公開の義務なども負う。もちろんこれは公共性の担保のためである。つまり、最初は簡単だが長い目では面倒臭い存在である。

では、有限会社ではどうか。資本金300万円の出資者数人への説明責任を果たし、納税申告を行えば足りる。つまり、最初にお金集めは必要だが長い目では面倒臭くないのである。AMCがこのような検討を行ったのか、詳細は知らない。しかし、法人化には、様々なテクニックがある。

収益事業の比重が大きい団体では、収益部門を有限会社化し、互助部門は、旧来のままか、NPO法人化する。分社の発想だが、その方が収益を上げるための経営判断が迅速化され、その収益を互助部門に寄付することで互助も充実するなど、メリットが大きい場合もある。

市民活動団体の法人化=NPO法人ありきではなく、活動の実体に合わせた幅広い検討が必要である。ご相談は、当センターへ。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 黒澤 学

## 内容

新規・継続事業紹介、評議員会報告、ロビン氏来仙報告  
部会報告、新スタッフ紹介、東北リレートーク  
BOOK、事務局活動報告 ほか

◆せんだい・みやぎNPOセンターの新規・継続事業を紹介します◆

**NPOの役に立ち、社会を変える事業を実施!**

新しい春を迎え、せんだい・みやぎNPOセンターでも新規事業がはじまったり、より効果的な成果を生むために継続事業の見直しを行いました。今回はこの春に決まった事業などをお知らせします(表参照)。

当センターでは、NPOに役に立ち、そして地域の社会を変える事業を、今年もどんどん行っていきます。ご紹介した事業リストに関心がある時は、すぐに事務局までご連絡ください。皆さんに応援・協力していただいて大きな成果をつくりだしましょう。

■せんだい・みやぎNPOセンターの5周年企画(No.21)

—それは「脱・NPOセンター」なのか?—

1997年11月1日、当センターが任意団体として誕生してから早5年が経とうとしています。この5年間に、社会的にも、NPOセクター的にも、当センターにとってもたくさんのドラマがありました。(なんと5年間で当センターに有給スタッフとして関わった人はのべ40人を数えます。)

さて、この5年間、当センターは何をしてきたのか、そしてこれから何をしていくべきなのか。5周年とは、そういうことを振り返り、評価し、展望を示す絶好の機会です。そこで、11月1日・2日(金・土)の2日間、「せんだい・みやぎNPOセンター風」の5周年記念企画を実施します。同時に、この5年間の活動・組織として歩んだ軌跡・学んだことの記録をこれからの時代に役立つ成果物として発行します。

「NPO支援センターは、時代の2歩先を行く感覚がなければならぬ」とは、NPOマネジメントの川北氏のことばです。宮城といわず、東北、全国から注目されるような画期的な5周年企画を考えたいと思います。

■NPOへの人財サポートシステムの開発(No.6)

NPOの経営資源の最も重要なものの一つである「人」に焦点を当てるのが、「NPOへの人財サポートシステムの開発」です。主に企業人が円滑にNPOでボランティア活動を実施するため以下の5つを実施します。この開発を進めることで、NPOの人材不足の構造的問題の解決を図りたいと考えています。

- ①研究会の開催：ボランティア支援機関、企業、NPOなどによる研究会を結成。事業への参加の仕組みをつくる。
- ②ボランティアマネジメント実態調査：ボランティアに関連する施設、組織、NPO等においての実態を把握し人材不足の原因と課題を抽出、結果を分析する。
- ③企業とNPOにおけるボランティア研修プログラム開発：企業とNPOが協働でボランティアとインターンシップについてのプログラムを共同で開発。人材交流の試験運用を実施してプログラムの精度を高める。
- ④NPOにおけるボランティアマネジメント研修とその責任者の養成：NPOの活動現場で役に立つプログラムをNPOスタッフ同士で研究と開発を行い、さら

**第3回 評議員会 報告**

4月23日(火) 仙台市市民活動サポートセンターにて、評議員8名、理事7名の出席のもと、第3回評議員会を開催しました。

現在4年半を経過した当センターは、中期目標の設定とポジショニングの確認を昨年総会時に明示し、重点事業の実施を主に各種事業を展開してきました。これらの事業の報告を行い、特に企業とNPOの連携推進、サポート資源提供システムの構築と運用、市民起業家・コミュニティビジネス支援システムの構築など、先駆的な事業の取り組みに対しては東北の各支援センターからも期待が寄せられました。

今後の社会情勢において、代表理事・常務理事の加藤から「NPOは地域社会をどう構築するか。その提言力を強く求められる時代になる。そこへ焦点を絞った上で事業を展開していかなければならないと考える」と解説。評議員の方からは、教育の問題(学校5日制、奉仕活動の義務化等)や企業人や団塊の世代の方々へのアプローチについて、今後の事業展開の示唆に富む貴重なご意見やご提言を頂戴いたしました。ありがとうございました。

(青木 ユカリ)

## ■この春からの新規・継続事業

番号	事業名	事業内容
1	NPO法制度改正	NPO法制度・税制について継続して改正を求めています。全国組織のNPO/NGOに関する税・法人制度連絡会に参加・連携しながら地方から声を届けます。
2	サポート資源提供システム	●資金提供/日専連基金、宮城労金基金の推進、100円倶楽部のシステムの開発と共に企業・市民からの幅広い寄付を集めNPOにつないでいきます。
3		●物品提供/机、ロッカー、紙等の物品の提供を仲介します。新品・中古品ともに物品提供をお待ちしています。
4		●中古PC提供/(社)宮城県情報サービス産業協会との提携で今年も提供を継続。効果的な団体運営をするためにITを活用しましょう。
5	NPO情報ライブラリー	NPOの情報を収集し、社会への情報提供を行うことでNPOの認知度向上を目指します。登録NPOを随時募集。また、ホームページからの発信を準備中です。
6	●新 NPOへの人財サポートシステムの開発	ボランティアマネジメントの調査・研究を行い、モデル企業とモデルNPOで人財交流のプログラム開発を行います。助成：日本財団。
7	みやぎNPO支援センターネットワーク研修	宮城県内の5つの民間NPO支援組織と地域NPOが研修・交流しスキルを向上、地域団体への経営支援力を養います。主催：同ネットワーク、助成：日本財団。
8	NPO実践講座	NPO経営に必要なノウハウを丁寧にレクチャーします。団体から2～3名で参加すると効果的団体運営に生かれます。
9	セナードサロン	市民活動団体の交流広場です。毎回、社会的な話題をテーマに設定して、意見や情報の交換を行っています。ぜひご参加を。
10	PONPO-NET	NPOと企業、市民が出会い交流するプラットフォームです。サロン機能とプロジェクト創出機能を持っています。お気軽にご参加ください。
11	●新 コミュニティ・ビジネス開発講座(仮称)	NPOのノウハウを活用し、コミュニティビジネスの起業を支援する連続講座です。委託事業：仙台市中小企業支援センター。
12	●新 情報発信パワーアップ講座	「効果的に活動をPRするための広報講座」「ITを利用したチラシづくりのレクチャー」を実施します。団体発信力をつけましょう。配分金：宮城県共同募金会。
13	すくすく市民プロデューサー養成講座	青年育成プログラムへの講師派遣。NPOへのインターンシップや企画講座を通してスキルアップを図る講座です。講師派遣、主催：宮城県。
14	書籍販売「みんなん堂」	NPOの基礎からマネジメント、海外の情報まで幅広く書籍を販売しています。ホームページにも注文票がアップ。お申し込みはファックスでどうぞ。
15	講師派遣	NPOのスタッフ・理事をはじめ行政職員や企業、市民などを対象に、様々なテーマで講演に伺います。ワークショップ等も受けたまわります。
16	視察・ヒアリング	行政・企業・NPOからの視察やヒアリングのご依頼にお応えしています。わかりやすい資料を準備し、丁寧な説明を心がけています。ご予約はお早めに！
17	NPO経営相談	聞くに聞けない団体の運営や経営の悩みに当センター代表理事の加藤がお答えします。まずはご相談ください。月に1回開催。
18	仙台市市民活動サポートセンター管理・運営(委託：仙台市)	●カラフルフェスタ/様々な分野の市民活動団体の方々のご協力をいただき7月3日(水)～7日(日)に開催します。
19		●人材育成講座/市民活動団体の人材の育成のために効果的な講座を開催します。詳細はこれから。
20		●市民起業家講座/大好評を博した仙台市市民局主催の「市民起業家スクール」に続く講座を実施します。
21	●新 せんだい・みやぎNPOセンター5周年記念事業	当センターは11月1日をもって5周年を迎えます。各地からゲストをお呼びしての企画と、当センターのコンセプトブックの制作を予定しています。
22	総会	今年の総会は9月8日(日)に開催。手帳への記入をお忘れなく。会員の皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。
23	評議員会	年2回実施しています。毎回、当センターの活動についてご意見やご提案をいただいています。次回は10月10日(木)の予定。

には責任者のスキルアップを図る講座を実施する。

⑤パンフレットの制作：企業向けにはボランティア研修の導入を進めるもの、NPO向けにはボランティアマネジメントについてのパンフレットを作成・配布し広く啓発を行う。

当事業に関心がある方は、ぜひご連絡を！

■コミュニティビジネス/市民起業家養成 (NO.11,20)

当センターでは、これまでコミュニティ・ビジネスや市民起業家に関する事業を実施してきましたが、今後もより中身の濃い事業を実施していきます。「コミュニティ・ビジネス開発講座」「市民起業家講座」（共に仮称）は、どちらもNPOの事業性や地域で暮らす人々のニーズをとらえ解決するNPOの特性に着目した講座です。ビジネスの手法を効果的に利用してNPO的に地域の課題解決になるような起業のサポートを行っていきます。

仙台市では、「新・生活産業創造コンソーシアムin SENDAI」（当センター代表理事の大滝・加藤は発起人のひとり）を設立し、NPO事業の先駆性に着目して仙台モデルのコミュニティ・ビジネスを創出することを推進しています。当センターとしてはこれまでの経験とノウハウ、そしてNPOのネットワークを生かして事業を進めていきます。

■情報発信パワーアップ講座 (NO.12)

NPOが効果的に成果を社会に示すために、社会に向かって視覚的にもわかりやすく情報を発信することが必要です。これをサポートするのがこの講座です。  
①実践的な広報に関するレクチャー ②ITを活用したチラシづくりのレクチャーの2本柱で実施する予定です。活動の質を高めるためにもぜひご参加ください。

■サポート資源提供システム (NO.2~4)

2年に渡り研究開発と実証実験を行ってきました「サポート資源提供システム」は、これから自主事業として運営するために、参加企業の方々と運営委員会を組織し、システムの維持と開発にさらに力を注ぐ予定です。現在は、運営委員会の規約づくりを行っています。さらにこのシステムを利用したNPOや企業の状況がひと目でわかるデータベースもまもなく稼働する予定です。その際はホームページからアクセスできますのでご期待ください。「システムを支えたい」「システムを利用したい」という方はぜひお声かけください。

■継続事業も積極的に推進します！

仙台市市民活動サポートセンターでは、4月から仙台市の市民活動支援室が本庁に移転したこともあり、受付や情報サロンを使いやすくレイアウト変更しました。地域の市民活動がもっと活発化するために初心に戻ってサポートしたいと思います。

みやぎ支援センターネットワークは、今年さらにステップアップした活動を実施します。各地で地域のNPOへの研修やこれを活用した新聞づくり、支援センターの交流・研修を行います。宮城の各地域のNPOが、まるごとパワーアップするためにがんばります。

今回の紙面ではご紹介できない事業もあります。お気軽に事務局にお問い合わせください。また、新たな情報については、事務局通信みんなやファックスで随時お知らせします。

報告：英国からロビン・ローランド氏来仙！

経験に基づいて、地域の課題解決のための活動・事業にアドバイス

イギリスで環境や地域づくりの活動を行うNPO「チルトン・ソサエティ」や社会起業家を支援するネットワーク「CAN」で活躍するロビン・ローランド氏が5月7日～9日に来仙し、講演、仙台のNPOとの交流を行った。

「コミュニティビジネスの成果と可能性」をテーマとした講演会では、イギリスでのコミュニティビジネスの事例を紹介。失業率45%の地域がどのように再生したのか、ローカル地域での環境保護と地域経済の活性化、高齢者の人的財産の活用をどのように効果的に実現してきたかを説明した。ロビン氏は「日本とイギリスは違いよりも似ている事の方が多い。お互いのいい事例からエッセンスを学び、活動に役立ててもらえればうれしい」と語った。また、「コミュニティビジネスを進める上でのポイントを次のように指摘した。①過去に縛られず想像力を働かせる ②心を開き幅広く議論する ③ビジョンを持ち10年先を見通し目標を文章化する ④ビジョンに達するための資金を調達する ⑤他者から学び経験を活用する ⑥よいビジネスから学びマーケティングを行い良い広報を行う ⑦あなたが取り組んでいることを常に他人に伝える ⑧人材が最も大切 ⑨質が質を呼ぶ ⑩パートナーシップのためにいつも準備しておく……」

机の前に貼って、活動の振り返りにしてはいかがでしょうか。ご利用ください。  
(遠藤 智栄)

■セナードサロン報告■

第63回 第64回

第63回は、「ワールドカップボランティアもてなし術交換」(3月7日(水))。来たるワールドカップに向けて、熱い思いを持ったボランティアや企業の方が、スポーツ振興から国際交流まで、様々な分野から大集合！みやぎ国体の元ボランティアの方を交えて、市民ができるもてなし術を交換し合いました。それぞれに活動していた人達が、この場での交流を通して、横の繋がりを広げるきっかけをつかんだようです。「もてなしの基本は心を開くこと」との意見に、参加者全員がやる気を奮い立たせていました。これからワールドカップをめぐる動きに目が離せませんか？

第64回は「行政の予算の決まり方...仙台市の場合...」(4月11日(木))を開催しました。

今回は仙台市財政課の方をお招きし、日頃あまり伺えない仙台市の予算の決まり方について、親しみやすい語り口で説明していただきました。予算の決まって行く時期と過程、重点事業と傾向などの話に参加者も興味津々。市民が予算についての提言をしていくためにはどうすれば良いのか、また行政が市民の声をより予算に反映させて行くにはどうすれば良いのか？お互いに懐を開いて歩み寄る姿勢が大切だということ、改めて考えさせられた貴重な2時間半でした。(中務 恵美)

●次回：6月6日(木) 19時から

会場：仙台市市民活動サポートセンター

テーマ：せんだい助成金事情

部会報告

■PONPO-NET■

第13回 4/10

前回のPONPO-NETでは「にぎわいを生み出すサロン機能を基本として、その中で生まれてくる話題やアイデアをふくらませて、実現の喜びのために地域に対して何かアクションを起こして、地域から認知されることを目指す」という今年度の方向性・目標を確認しました。それをうけて4月10日には、実現できそうなプロジェクトのタネを考えました。各々の団体で取り組んでいる活動や最近気になる話題まで、PONPO-NETで取り組みそうなタネがたくさん出されました。その中から身近で取り組みやすいものとして①タウンモビリティ(CILたすけっとの取り組みより)②サポート資源提供システム(せんだい・みやぎNPOセンターの取り組みより)③国際交流の授業実施(アイセック仙台委員会の取り組みより)の3つにPONPO-NETとして関わっていくことになりました。

今回のテーマは「ちょっくらおでかけサービス“ながまち”って何？」CILたすけっとが長町で取り組んでいるタウンモビリティについて、ゲストを迎えてすすめる予定です。まちづくりに興味がある方のご参加をお待ちしています。

(中津 涼子)

●次回：6月4日(火) 18時30分から

会場：東北NSソリューションズ(株) 会議室

会議室提供：東北NSソリューションズ(株)

新スタッフを紹介します！

「 知力・体力・やる気・でがんばります 」

一緒にNPOを支援する仲間が4月から3人増えました。その横顔をご紹介します。全員の務地が市民活動サポートセンターになりますので、こちらにおいでの際は、ぜひスタッフに励ましの言葉をおかけ下さい。

※①氏名 ②出身 ③趣味 ④最近感動したこと ⑤目標・テーマ

■① 畠山未津留 ② 仙台市 ③ 趣味・考古学の勉強、特技・龍笛 ④ せんだい・みやぎNPOセンターから「採用に決まりました。」という電話をいただいたこと ⑤ 「何事もアグレッシブに！」今年もこれぞいきます。市民活動に関しては初心者ですがアグレッシブに楽しく仕事をしたいと思っています。

■① 国分伸矢 ② 福島県二本松市 ③ ジャズ。聞くことも演奏するのも大好きです。楽器はウッドベースを弾き、定禅寺ストリートジャズフェスティバルにも毎年参加しています。④ 仙台市内のジャズライブハウスで演奏できたこと。⑤ 「Cool, Easy and Warm Heat」冷静でも常に情熱を持って。

■① 田口暁子 ② 仙台市 ③ お散歩(瑞鳳殿のあたりは、木がうっそうとしていて気持ちいいですよ) ④ 映画「ファイト・クラブ」(デビッド・フィンチャー監督)が、実は社会だけではなくて現代人の生活をも風刺していると気づいたこと。⑤ ほんのちょっとした勇氣と思いやり(定義如来のおみくじより)。

東北リレートーク

郡山市 / 市民メディア・イコール

「やりたいことをやろう」と、郡山市教育委員会発行の男女共同参画情報紙のボランティア編集委員をしていた4人が2000年に「市民メディア・イコール」を設立しました。

行政の発行する情報紙に関わっていた私たちでしたが、自分たちの身近なところの問題を取り上げ、市民の視点で情報紙を制作したいと考えていました。そんな時、郡山市主催のセミナーの講師として上野千鶴子さんが招かれ、幸運にも私たちは話しをすることができました。上野さんにとっては何気ない会話の一言だったと思いますが、「自分たちでやったら」。この言葉がまさにNPO的な考え方であり、実はイコールを立ち上げる私たちのエネルギーになりました。

市民メディア・イコールの目的は「男女共同参画社会の実現と誰もが差別されることのない社会づくり」です。

「男だから」「女だから」と言われたり決めつけられたりと、生きにくいと感じたことはありませんか。その思いを広くみなさんに理解していただくために「イコールプレス」という情報紙を隔月発行し、無料配付しています。時々「市民メディア・イコールって、何をやっているNPO?」と聞かれますので、その他の事業を記載しました。

- 情報紙などの編集
- セミナー・イベントなどの企画開催
- 講師派遣
- 行政事業などの受託・協力
- NPOなどとのネットワーク、協力・支援

活動をとおり、男女共同参画社会はまだまだ遠いところにあると実感しています。男性女性に限らず誰でも生きやすい社会になるための活動を続けていきたいと思っています。(理事長 山口久美子)

■特定非営利活動法人 市民メディア・イコール

〒963-8004 福島県郡山市中町3の1ビュプラザ  
TEL・FAX 024-991-7141  
E-mail npo-equal@bc.wakwak.com

この雑誌は「新しい地域づくりを目指す すべてをPublic Worker (パブリック・ワーカー) のために」という書き出しで始まっている。そして「共に地域を創る」という願いがこめられている。では、「共に」地域を創るのは誰と誰なんだろう? その答えは「パブリック・ワーカー」。これまで公を担ってきた自治体職員、社会活動に意欲的な住民、企業、そしてNPOであるこの本では書かれている。

私も、市民活動サポートセンターの業務に携って、「条例」や「指針」などの言葉に敏感になってきた。なぜならば、自分がまちで生活する上でのベースがそこに定められているからである。だがそれは、これまで官が市民とはかけ離れた遠いところで作っているという認識だった。

しかし、そのような現状を作り出したのは私たち市民にも責任があり、官に頼りすぎ

ていたと思う。NPOも官のしくみが分らないと、自分たちの考えるような「まち」にはつながりにくい。NPOのやれること、官のやれることを組み合わせ、お互いに知恵を出し合いながらより効果的・効率的にまちづくりを担う主体になることが、現在のまちづくりに求められている必要不可欠な要素であろう。

この雑誌では「まちづくりの主体」となっている人たちが施策にスポットを当て、まちづくりに必要なヒントを具体的な事例として情報提供している。日本全国、それぞれ魅力的な「まち」がタイムリーに取り上げられているので、読んでいてワクワクする雑誌である。

ちなみに、月刊ガバナンスはサポートセンターでも閲覧が可能だ。ぜひ、パブリック・ワーカーである「みんな読者」の皆様参照していただきたい。(田中聡子)

BOOK

ガバナンス

発行：ぎょうせい  
価格：800円(税込)

## 事務局活動報告 (2002.2/22~4/20)

## 活動報告

## ■事務局/自主事業関連

- ・事業・運営会議 (第32回: 2/25 第33回: 3/12 第34回: 3/25 第35回: 4/9)
- ・センター会議 (2/27 3/27 4/24)
- ・サポート資源提供システム東北巡回フォーラム<酒田> (2/28 紅邑・遠藤) <古川> (3/6 紅邑・青木・遠藤) <福島> (3/8 川村・紅邑・遠藤・中津) <石巻> (3/20 木村・紅邑・遠藤・高田)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (3/6・13・20 4/3・10・17)
- ・セナダードサロン「ワールドカップボランティアもてなし術交換」[「行政の予算の決まり方...仙台市の場合」] (3/7 4/11 紅邑・遠藤・田中・中務)
- ・NPO情報化セミナー/協力: エルネット仙台・(特) 宮城県断酒会・(財) ニューメディア開発協会 (3/9・23 加藤・高田)
- ・サポート資源提供システム第2回運用ワーキング (3/11)
- ・宮城県議会議員との意見交換会 (3/12 加藤・紅邑・黒澤・門間)
- ・理事会 (第33回: 3/20 第34回: 4/20)
- ・スタッフ採用面接 (3/21)
- ・サポート資源開発プロジェクト第5回研究会 (3/26)
- ・ひまわりミーティング (4/3・8)
- ・PONPO-NET (4/10 中津・松尾)
- ・第1回事業企画戦略会議 (4/18)

## ■NPO/企業関連

- ・「都市問題」公開講座/主催: (財) 東京市政調査会 (2/22 加藤)
- ・国際シンポジウム「NPOと評価 - NPOマネジメントの実践」・評価システム研究会フィナーレ/主催: 評価システム研究会 (2/23・24 3/16 加藤・紅邑)
- ・講演「市民活動と行政改革 - NPOによる広域市民活動」/主催: (社) 地方行政調査会 (2/28 加藤)
- ・プロジェクトコーディネーター講座/主催: 一新塾 (3/2・3・17 加藤)
- ・第6回配分委員会/主催: (社福) 宮城県共同募金会 (3/5 加藤)
- ・でんでん宮城いきいきネットワーク研修会 (3/6 加藤)
- ・(特) グループゆう研修会 (3/16 遠藤)
- ・東北ブロックボランティアコーディネーターセミナー「ボランティアコーディネーターに役立つ! これがコーディネーターの神髄だ!!」/主催: (特) 日本ボランティアコーディネーター協会 共催: (社福) 東北福祉会せんだんの杜、他 (3/10 紅邑)
- ・NPOのためのITを使った「広報講座」/主催: IT学習サロン「クリック」、(財) ニューメディア開発協会 (3/13 紅邑・遠藤)
- ・NPOパワーアップセミナー<東京編・大阪編>/主催: 住友生命社会福祉事業団、日本NPOセンター (3/15・23 加藤)
- ・えひめNPO研究会 (3/18 加藤)
- ・PC Bridge第4回情報連絡会 (3/19 高田)
- ・日本NPOセンター理事会 (3/22 加藤)
- ・市民社会構築への展望を語る~第4回「地域から市民社会をつくる」/主催: (特) 市民活動センター神戸 (3/24 加藤)

- ・座談会/主催: 河北新報社 (3/29 加藤)
- ・パートナーシップ大賞選考委員会/主催 (特) パートナーシップ・サポートセンター (4/7 加藤)
- ・講演「NPOネットワークとは?力を合わせる大切さ」/主催: (社) 真岡青年会議所 (4/10 加藤)
- ・元日通常営業を考える会第1回委員会/主催: 仙台商工会議所 (4/10 紅邑)
- ・地域のNPO支援センタースタッフと企業の社会貢献担当者との懇談会/主催: 日本NPOセンター (4/11 加藤・青木)
- ・事業実現化検討委員会/主催: 仙台中心市街地活性化推進機構 (4/11 紅邑)
- ・第15回NPO支援センタースタッフ研修会/主催: 日本NPOセンター、茨城NPOセンター・ commons (4/12・13 青木・遠藤)
- ・NPO/NGOに関する税・法人制度連絡会総会 (4/12 加藤・青木)

## ■自治体関連

- ・福島県まちづくり会議/主催: 福島県 (2/23 遠藤・田中)
- ・NPOマネジメント実践講座<築館>/主催: 宮城県 (2/26・27 加藤・紅邑・青木・布田)
- ・アレア隊養成講座/主催: 仙台市・廃棄物管理課 (3/5 加藤・紅邑)
- ・仙台市市民活動サポートセンター利用者意見交換会「サボ談」/主催: 仙台市・地域振興課 (3/6)
- ・クリーン仙台推進員研修/主催: 仙台市・リサイクル推進課 (3/7 加藤)
- ・自然に親しみ大切にする活動推進講演会「活発な活動を推進するしくみづくりに向けて」/主催: 福島県 (3/14 加藤)
- ・都心居住研究会/主催: 仙台都市総合研究機構 (3/14 紅邑)
- ・パートナーシップ講演会「NPOその本質と可能性」/主催: 松山市 (3/19 加藤)
- ・宮城県民間非営利活動促進委員会/主催: 宮城県 (3/26 紅邑)
- ・仙台市社会教育委員会/主催: 仙台市・生涯学習課 (4/9 紅邑)

## ■相談、ヒアリング関連

- ・視察: (社) あすの秋田を創る協会 (3/1 紅邑)
- ・ヒアリング: 厚生労働省職業安定局雇用開発課 (3/4 加藤)
- ・相談: 榎原さん来訪 (3/5 紅邑)
- ・ヒアリング: 東北開発研究センター (3/9 加藤・紅邑)
- ・NPO経営相談: (仮称) 社の都環境ネットワーク (3/9 加藤)
- ・ヒアリング: (株) ベネッセコーポレーション (3/15 加藤・紅邑)
- ・相談: (社) 宮城県警備業協会他、3名来訪 (4/15 加藤・青木)
- ・相談: 片平たても応援団 (4/19 加藤・青木)
- ・相談: 人事院東北事務局 3名来訪 (4/17 加藤)
- ・相談: 総務省秋山さん来訪 (4/17 加藤)



サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成13年度会員 (五十音順、敬称略、2002.2/22~4/20)

(新規)島山 俊樹、(特)でんでん宮城いきいきネットワーク、津志田 達雄  
 (継続・個人・正会員)相澤 耀司、出雲 幸五郎、藤原 範典、生島 ヒロシ、佐藤 覚治、内海 睦夫、樋口 美智子  
 (継続・団体・正会員)仙台市交通労働組合、いしのまぎNPOセンター  
 (継続・準会員)丹野 修、佐藤 和夫、小野寺 知子、南條 成子、荒井 正昭、小玉 順子、小嶋 淳一、(社福)仙  
 台いのちの電話、楨 ひさ恵、日本たばこ産業(株)仙台支店、コミュニティおきなわ、樋口 典子(平成14年度分も)、日  
 本たばこ産業(株)仙台原料本部

●平成12年度会員 (継続・個人・正会員)太斎 寛、登坂 宗太

●ボランティアスタッフ (五十音順、敬称略)

細野泰志、本郷正武、名取宏昭、武内亜希子、門間尚子

●企業・団体協力 (五十音順、敬称略) 岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)

東北NSソリューションズ(PONPO-NE Tの会議室を無料提供)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

催事・サポート案内

■センドードサロン

助成金を獲得するために、まずご参加を!

テーマ: せんだい助成金事情

開始: 19時~ 参加費: 500円

会場: 仙台市市民活動サポートセンター

■経営相談

なかなか聞けない悩みを解決しましょう!

今月の開催は、5月23日(木) 13時~17時

1時間単位でお申し込みください。

相談料: 会員 2000円、非会員 2500円

■新書入荷しました!

福祉、コミュニティビジネス、地域づくりにつながる!

「ホームレスと市民~都市再生につながる自立支援方策~」

価格: 税込み1000円

発行: ホームレス問題研究講/シチズンワークス

サポセンの組織変更のお知らせ

4月から仙台市市民活動サポートセンターの管理・運営の組織体制を次のように変更しました。皆様のご協力、よろしくお願いたします。

センター長: 青木ユカリ、副センター長: 松尾敏行

会員になるなら今! 2ヶ月分お得です

■会員になってNPOセクターをサポートしませんか。

5~6月に会員にお申し込みいただくと会費が2ヶ月分お得になります。当センターの年度は7月~翌年6月までなので、今会員になると通常なら13年度会員ですが、これを大サービスして14年度会員に。5~6月に当センターは様々な情報をお送りいたします。

「新年度に入ってから会員に」と思っていた方、チャンスです。ぜひ、ご友人などをお誘いの上、お申し込みくださいませ。詳しくは事務局まで。

せんだい・みやぎNPOセンター

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F  
 tel 022-264-1281 fax 022-264-1209  
 E-mail: minmin@minmin.org  
 http://www.minmin.org/

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



みんな編集後記

■「生かすも人間。殺すも人間。それが人権。」これはアムネスティ・インターナショナル日本のパンフレットにあるメッセージ。「彼らには武器がある。僕たちには言葉がある。」これは、池澤夏樹氏のメールマガジンのはじめにあるメッセージ。静かに、でも、ググッと心が動きました。(紅邑) ■中央通の某外資系ファッション店。先月、目をつけていた春物シャツを買いに行ったら「あ、その服はもう倉庫に…」おいつ! 東北の夏はまだ遠いぜ! って話をしたら、そのシャツがこの間のセールに再登場。全国展開にも地域のニーズが大切です。(工藤) ■4頁で紹介したロビン氏と一緒に「青葉山の緑を守る会」の方々のガイドで青葉山を歩いた。近くでもなかなか行けなかった青葉山。会の活動の歴史に引き込まれ、ロビン氏も自らの環境保全活動の様子と成功へのエッセンスを熱く語った。言葉を越えた空気に触れた一日!(遠藤) ●編集部にご感想をお待ちしております。